



優しい気持ちを育みたい
「親子ふれあい交流会」を開催し、
セラピードッグとの交流から
優しさをもらいました。

大賞フォト 鵜沼第一地区社協

各務原市福祉フェスティバル2015での「地区社協ベストフォトコンテスト」の結果、
鵜沼第一地区社協が大賞に選ばれ、本表紙を飾りました。

- 赤い羽根共同募金へのご協力をお願いいたします
- 輝きインタビュー 将来を担う福祉のたまご
- 地区社協の取り組み紹介



各務原市社協キャラクター



サポート君

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いたします

誰かの役に立ちたくて、
募金をしたら、
じぶんの町の
役に立っていた。

赤い羽根は
自分たちを応援する
募金でもあります。



10月1日より赤い羽根共同募金運動がはじまっています。
集められた募金は、各務原市や岐阜県の福祉活動に使われます。
皆さまからのあたたかい心を共同募金にお寄せください。

自治会の皆さまにご協力いただく他、下記の日程で街頭募金を行います。(予定)

日時	会場	協力団体
11月8日(日) 午前10時～午前11時	アピタ各務原店	ボーイスカウト各務原第一団
11月14日(土) 午前11時～午後3時	イオン各務原店	那加中校区ふれコミ隊
12月13日(日) 午前10時～午後3時	市内のスーパー	各務原市明るい社会づくり運動協議会

会費はこのように地域の福祉活動に使われています。



親子ふれあい交流事業
(稲羽東地区社協)



人材発掘事業で障がいについて学ぶ
(各務地区社協)

社会福祉協議会 会員募集

8月からの会員募集につきまして、多くの市民の皆さまのご理解と自治会長さんをはじめ班長・組長・民生委員児童委員の皆さまの格別のご協力をいただき誠にありがとうございました。

集まりました会費は地域福祉活動をはじめとする社会福祉事業の財源として大切に使用させていただきます。

皆さまの温かいご協力にお礼を申しあげるとともに、今後とも誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりにご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

世帯会員	36,724
賛助会員	775
会費総額	21,795,600円
	(9月30日現在)

ボランティアハウス紹介

ボランティアハウスは、地域の高齢者や障がいのある方、子育て中の人などが閉じこもりにならないように集まり、楽しく交流することを目的としています。歩いて行ける身近な公民館や集会所などに定期的に集うことで地域のささえあい、助け合いの輪が広がります。現在84ヶ所のハウスがあります。

ふれあいサロンひまわり会 交流を深める食卓会

ふれあいサロンひまわり会（代表：棚橋 幸子さん 蘇原南部地区社協）は、蘇原福祉センターで毎月第一日曜日に開催されるボランティアハウスです。もともとご近所同士が集うかたちとして10年以上活動してきましたが、地区社協の役員さんの勧めもあり、誰もが集えるボランティアハウスとして再出発しました。代表の棚橋さんは「お互いが支えあえる場所になればと思っています。誰もが気軽に参加できることが一番です。」と話してくれました。

このハウスでは閉じこもりや孤立しがちな方々にも積極的に声をかけることで支えあいの輪を広げています。取材した日は、多くの方に声をかけ食卓会で交流を深めました。男性参加者も多数参加してくれました。皆さんもハウスに参加して新しい仲間をつくってみませんか？



参加者の声

- ★外に出かけるいい機会になります。
- ★皆和気あいあいと楽しんでいます。



ボランティアハウス笠田

子どもとお年寄りの折り紙交流

ボランティアハウス笠田（代表：大山真さん 川島地区社協）は、笠田町公民館で毎月第四土曜日に開催されるボランティアハウスです。代表の大山さんと副代表である野田さんが講師となり、毎月物作りをするハウスとして子どもからお年寄りの方が集います。折り鶴の作品は、五月月かけて完成させました。約600個の折り紙のパーツを折り、くちばしなどは色付けし、最後に組み合わせで作られています。組み合わせ方でそれぞれ違った姿となるので、同じもの一つもありません。今までの作品は、わりばしで作る置物であったり、折り紙で作る傘などさまざまでしたが、どれも一日で完成してしまうものだったので、今回の折り鶴は時間をかけ、みんなで協力して作品にしたいとの思いで取り組みました。代表の大山さんは「子どもは素直だから一生懸命に作ります。お年寄りの方も手先を動かして脳に良い刺激になればと思っています。」と話してくれました。

こうした子どもとお年寄りの関わる機会が少なくなっている今日、物作りを通してふれあえる場はとても大切だと改めて感じました。お近くの方はぜひお立ち寄りください。



参加者の声

子どもも集まれる場所として毎月楽しみにしています。

ふだんのくらしを しあわせに

「福祉体験学習」

各務原市主催寺子屋事業

8月5日、各務原市の寺子屋事業の委託を受け「福祉体験学習」を行いました。これはお年寄りや障がいのある方とふれあったり、疑似体験をすることで「生活のしづらさ」や「自分ができること」を学んでもらうという事業です。将来の担い手である子どもたち（小4～6）を対象とし、49名が参加しました。

当日は高齢者向けの食事体験、義足についての講話、施設に入所されている方との交流などを行いました。

子どもたちは特に「高齢者の立場になる体験」が印象深かったようです。



今仙技術研究所の皆さんによる義足についての学習



生活のしづらさを体験

重りやサポーターを着用することで手足の動きにくさを体験することができました。また、目が見えにくく字が読みづらいことを体験したことで参加者からは、「体験したことでお年寄りの方が大変ということがよくわかった」「これからは今までよりもっと助け合いをしていきたい」という声が聞かれました。

周囲の支えによってその人らしい生活ができることを学べたようです。

この体験を今後活かして困っている人に手を差し伸べられるといいですね。

★輝きインタビュ― 〜将来を担う福祉のたまご〜



東海学院大学（那加桐野町）子ども発達学科4年生の加藤和沙なかつまさんは保育士の資格を取得し、*児童養護施設で働くことを目指しています。バレーボール部に所属しながら、保育園での夏祭りスタッフや障がいのある方とのスポーツ交流などボランティアにも積極的に取り組んでいます。

★子ども発達学科に入学したきっかけは？

幼い頃から近所の子もたちの世話をするのが好きでしたが、自分自身が幼稚園に通うことが苦手でした。将来私が保育園や幼稚園の先生になって、子どもたちに元気に通ってほしいと思ったことが児童分野に興味を持ったきっかけです。

★児童養護施設で働くことを目指したきっかけは？

大学在学中には児童養護施設で実習させていただきました。そこである少女と出会いましたが初めは暴言を吐かれるような関係でした。実習中には相手の気持ちを理解することに努めて行動しました。少しずつ心を通わすことができ、最後には「1番話しやすかったよ」と言ってくれました。このできごとがうれしくて児童養護施設で子どもたちのために働きたいと思いました。

★どのような職員になりたいですか？

今ボランティアをさせていただいている施設の職員の方が、とても温かく子どもたちと接してみえます。子どもたちが楽しそうに職員に話しかけている姿を見て、本当の家庭のようだと感じました。私もこの施設の皆さんのように温かい職員になりたいです。



※児童養護施設…さまざまな事情により家族での養育が困難な児童の安定した生活環境を整えるとともに、生活や学習の指導、家庭環境の調整等を行うつつ養育を行い、児童の心身の成長と自立を支援する施設。

ファミリー・サポート・センター 会員募集

ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）は、利用会員（地域で子育てのサポートを受けたい人）とサポート会員（サポートできる人）が登録し、助けあう事業として行っています。サポート会員・利用会員ともに募集しています。登録は社協窓口までお越しください。

- ◆対象：利用会員は小学3年生までの子どもを持つ家庭
- ◆内容：保護者の急な用事やリフレッシュ等の託児
- ◆費用：子ども1人1時間/平日【午前8時～午後5時】700円・土日祝【午前8時～午後5時】900円
早朝・午後5時以降はいずれも100円増。同一世帯の場合は、2人目から料金半額。
（費用は直接サポート会員に支払われます。）
- ◆その他：預かりは原則サポート会員の自宅で実施。
利用会員とサポート会員の併用可。

<産後お助け隊>

産後のご家族をサポートし、出産後の安心な育児環境をつくることを目的とした事業です。

- ◆対象：生後3ヶ月以内の子どもを持つ家庭
- ◆費用：1時間/平日【午前8時～午後5時】700円・土日祝【午前8時～午後5時】900円
- ◆その他：利用は1日2時間以内、最大週3回まで。

ファミリー・サポート・センター サポーター講習会の開催

新たな試みとして、子育てに必要な知識を身に付けていただくため普段の暮らしの中で気をつけるべき子どもの安全に関する知識について学びます。ファミサポの活動や日頃の子育てにも活用できる内容となっていますので、ご興味のある方はぜひ参加してみてください。

- ◆日時：12月10日（木）午前10時～午前11時30分
- ◆テーマ：『子どもの安全を守るために必要なこと』
- ◆場所：総合福祉会館3階研修室（各務原市那加桜町2-163）
- ◆講師：JAF岐阜支部
- ◆定員：30名

福祉フェスティバル2015 を開催しました

今年のテーマは「つたえる つたわる みんなの想い」でした。
新設の「感謝の気持ちを伝えるコーナー」では、子どもたちを中心に両親や友人へ感謝の気持ちを届けてもらいました。



▲ボランティア活動を体験

地区社協ベストフォトコンテスト▶



地区社協の取り組み紹介

鵜沼第一地区社協

親子ふれあい交流会(8月9日)

今年度は、動物とのふれあいをとおして優しい気持ちをもつセラピー犬とのふれあいを企画しました。

当日はマロンセラピードッグ協会(鵜沼朝日町)の皆さんが33匹ものセラピー犬を連れて来てくださいました。優しく動物の頭をなでたりし地域の方と一緒になつて散歩する姿がみられました。

初めての試みでしたが、和んだ雰囲気の中で家族の絆を越えた地



域の交流を深めることができたようです。

参加した子どもたちからは「動物が好きなので触ることができてうれしい」や「こんなにたくさん犬が来るなんて思わなかった。みんなかわいい」といった声が聞かれました。

ふれあいをとおして学んだ優しい心をこれからも持ち続けていけるといいですね。



陵南地区社協

健康ふれあい麻雀大会(8月15日)

この大会は昨年から企画したイベントです。地区社協の行事で男性の参加者が少ないという声を聞きます。陵南地区社協ではどうしたら男性が地域とつながりをもてるのか考え、男性が興味を持ちそうな麻雀に目をつけました。麻雀卓や牌は地域の皆さんが寄付してくれました。

この大会のモットーは「賭けない、呑まない、吸わない」地域の

皆さんが気軽に地域に出向くきっかけとなるように優しいルールを心がけています。

参加者からは「継続してやっていきたい。」「これだけほかかきず参加している。なかなか集まる機会もないので嬉しい。」「といった声が聞かれました。

地域の皆さんのご参加をお待ちしております。



高次脳機能障がいを理解する研修会を開催

『高次脳機能障がい』という障がいをご存じですか？
高次脳機能障がいを少しでも多くの方に知っていただき、ともに地域で暮らしていけるように研修会を開催します。

【研修内容】

第1回 『高次脳機能障がい』ってなあに？ ～岐阜高次脳機能障がいフォーラムに参加しよう～ (主催 岐阜脳損傷リハビリテーション講習会実行委員会)

- ◆日 時：11月7日(土) 午前10時～午後3時30分
- ◆会 場：産業文化センター あすかホール(那加桜町2-186)
- ◆内 容：①第一部：岐阜県高次脳機能障がい支援講演会(午前10時～正午)
②第二部：岐阜脳損傷リハビリテーション講習会(午後1時～午後3時30分)
- ◆定 員：450名

第2回 家族としての関わり方 ～日常的な支援とは～

- ◆日 時：11月28日(土) 午前10時～正午
- ◆会 場：各務原勤労会館2階 大研修室(那加雲雀町15)
- ◆講 師：高次脳機能障がいネットワークみらい愛知 理事長 尾山 芳子さん
- ◆定 員：80名

第3回 当事者・家族の視点から学ぶグループワーク ～今・将来を考える～

- ◆日 時：12月5日(土) 午前10時～正午
- ◆会 場：各務原勤労会館2階 大研修室(那加雲雀町15)
- ◆講 師：①NPO法人脳外傷友の会みずほ 副理事長 河田 幹子さん
②NPO法人ぎふ脳外傷友の会会長良川会員 当事者家族
- ◆定 員：30名



【お申込み・お問い合わせ】

各回入場無料です。事前の申し込みが必要です。また、定員となり次第締め切ります。

【申し込み方法】

電話・FAX・E-mailにて、「参加希望の回、番号」「氏名」「住所」「連絡先」をお伝えください。



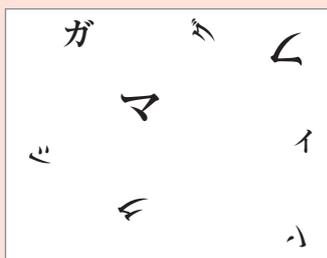
料理って楽しい! お達者でクッキングを開催します

仲間と、会話を楽しみながらゆっくり食べる食事は、心もからだも元気にしてくれます。ぜひ一度参加して、料理の楽しさや食べる喜びを一緒に味わいませんか。

- ◆日 時：11月20日(金) 午前10時から
- ◆会 場：総合福祉会館 3階 料理室
- ◆対 象：一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方
- ◆参加費：材料代500円
- ◆持ち物：三角巾、エプロン
- ◆定 員：30名
- ◆協 力：市食生活改善協議会



わかるとスッキリ!



あたまの体操してみませんか?

全ての文字を使って都道府県名を3つ作ってください。
同じ文字は1回しか使ってはいけません。

はがきに問題の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してご応募ください(11月16日必着)。

正解者の中から抽選で10名様に市内授産製品を進呈いたします。

宛先 〒504-0912 各務原市那加桜町2-163
各務原市社会福祉協議会 あたまの体操係 まで

7月号の答え ・岡山 ・神奈川

7月号では136名のご応募がありました。
抽選で10名様に市内授産製品を進呈いたしました。

第49回 各務原市社会福祉大会

- ◆日時 11月17日(火) 午後1時～午後3時30分
- ◆場所 各務原市民会館大ホール
- ◆内容
 - ①式典
 - 福祉功労者への表彰
 - わたしのお福わけ優秀作品発表・表彰
 - ②記念講演
 - 講師：ヨネスケさん
 - 演題：「隣の晩ごはんから見る家族とご近所」
- ◆入場料 入場は無料です。整理券を下記のとおり配布します。
10月21日(水) から次の窓口で配布。
各市民サービスセンター・市役所福祉総務課・
市民会館・社会福祉協議会事務局



落語で知ろう！成年後見制度

認知症のおばあさんを悪徳商法から守りたい。
知的障がいをもつわが子のために、親が亡くなった後も子どもの生活や財産管理を任せたい。
このように、物事を判断する能力が低下した時に寄り添うのが成年後見制度です。少し難しそうな仕組みですが、落語と座談会で分かりやすく学びましょう。

- ◆日時 11月26日(木) 午後1時30分～午後3時50分
- ◆会場 各務原市中央図書館 多目的ホール
- ◆内容
 - ①成年後見落語『後見爺さん』
桂ひな太郎さん(落語家)
 - ②座談会『使って安心。成年後見制度』
桂ひな太郎さんと4名の発表者による座談会。
座長は中部学院大学新井康友准教授が務めます。
- ◆参加申し込み 参加は無料ですが、事前に申し込みが必要です。電話またはメールにて。
定員(169名)になり次第締め切ります。



この頃雨の日が多く、ふだん自転車通勤だが道路交通法の改正や自分の健康維持のためもあり、2・4キロの道のりを歩いて出勤することがある。街の様子を眺めながらふっと、自分のやってきたことを振り返っていた。32年のあいだ、福祉の仕事に就いて、時折心が揺らく時もあったが、継続は力なりと自分なりの解釈で乗り切ってきた。今や福祉は特別でなくなった。福祉はなんだろう？ボランティアって、社協って何だろう？など若い時と同じように自問している。わたしの原点は、障害のある人たちのかかわりだ。随分と長いこと自分のなかで、避けていた部分もあるけど、なぜか自然と関わりを深めてしまう。山あり谷あり。仕事面でも私事でもまだまだやらなければならぬことがある。

(足立 健)

ひとりごと



善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

(敬称略・順不同) 平成27年6月1日～平成27年9月30日

端沼地区歌謡教室チャリティ合同発表会実行委員会	71,808円
株式会社大竹建設工業所グリーンフェア参加者一同	50,225円
波多野 耕三	9,000円
(故)猪子 美恵子	100,000円
公益社団法人田口福寿会	500,000円
坂井 節子	有価証券 1,325千口
株式会社イトー住建	56,300円
愛の家グループホーム	22,850円
デイサービス庵	10,000円
各務原市理容組合	12,095円
グランワールドカップ各務原店	1,172,200円
匿名	813円
匿名	2,950円
匿名	15,000円
コープぎふ くらしたすけあいの会	古切手
小島 道子	古切手
苅谷 美智子	古切手
伊藤 さと	古切手
山口車体工業株式会社	古切手
額縁 三郎	おむつ・紙パンツ他
各務原市理容組合	古タオル
匿名	古切手

お問い合わせ先 TEL 058-383-7610 FAX 058-382-3233



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ホームページ

各務原市社協

検索